

美術博物館の催し



art resonance vol.01 時代の解凍 関連イベント アーティストと学芸員による ギャラリートツアー



会場風景

本展出品作品や当館コレクション、ご自身の活動などをお話いただきます。

■日時 1月13日(土)午後2時～3時30分
■講師 藤本 由紀夫氏(アーティスト・出版作家)、高橋 耕平氏(美術家・出版作家)

■日時 1月20日(土)午後2時～3時30分
■講師 野原万里絵氏(画家・出版作家)、黒田大スケ氏(美術家・出版作家)



会場風景

■会場 展示室等 ■料金 要観覧料

【問い合わせ】美術博物館 ☎38-5432 / FAX 38-5434 / ✉ashiya-bihaku@shopro.co.jp (〒659-0052 伊勢町12-25) 【開館時間】午前10時～午後5時(入館は4時30分まで) 【休館日】月曜日(祝日の場合は、その翌日)・年末年始(12月28日～1月4日) 【観覧料】一般800(640)円、大高生500(400)円、中学生以下無料 ※()内は20人以上の団体料金 ※高齢者(65歳以上)および身体障がい者手帳・精神障がい者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの人とその介護の人は各当日料金の半額

特別展関連イベント 学芸員によるギャラリートーク



会場風景

本展担当学芸員が、展示室内でツアー形式の解説を行います。展覧会のみどころや、作品・作家にまつわるエピソードなどをお話します。

■日時 1月8日(月・祝)午後1時～2時 ■会場 ホール・展示室

■講師 当館学芸員 ■料金 要観覧料

アートスタディプログラム まなびはくルーム2023 「ガラス絵を描いてみよう！ —小出 檜重の秘技—

ガラス板の上に絵を描き、反対側から鑑賞するガラス絵。芦屋ゆかりの画家・小出 檜重も楽しんだガラス絵の制作を体験します。



小出 檜重《裸女(赤いバック)》1930年 油彩、ガラス 当館蔵

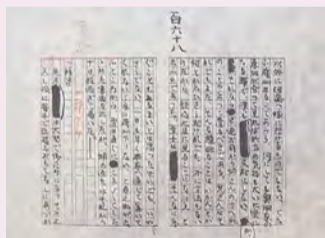
■日時 2月11日(日)午後1時～4時 ■会場 体験学習室 ■対象 小学5年生以上・15人 ■講師 川原 百合恵(当館学芸員) ■料金 600円(材料費) ■持ち物 汚れてもよい服装 ■申し込み 1月31日(水)までに氏名・住所・電話番号を電話かEメールで左記へ

谷崎潤一郎記念館の催し



「谷崎が・棄てた・『細雪』 ～復古原稿の中の名作～」

関連講座 学芸員が語る冬の特設展



「細雪」復古原稿

谷崎が遺した7枚の「細雪」復古原稿からは、現在の内容とは大きく異なる展開がみえる。文豪が書き棄てた原稿は、はたして何を物語るのか。

■日時 2月3日(土)午後2時～3時
■会場 講義室 ■定員 20人(要申込)

■講師 井上 勝博(当館学芸員) ■持ち物 筆記用具

ロビー展示 谷崎館講座受講生作品展

■期間 【日本絵画展】1月23日～2月4日※最終日午後1時より花月 真さんのオペラ歌唱があります【マーレングラスリッツェン展】2月7日～12日【仏画展】2月15日～25日【俳句展】2月28日～3月3日【手ろくろ陶芸展】3月6日～10日 ■会場 ロビーギャラリー ■料金 要観覧料



陶芸講座講師 林理恵氏作

つながる文学講座 第6回 ^{ふとん} 《告白と文学》～田山花袋「蒲団」を 読み解く～



光石 亜由美氏

自然主義文学の代表作といわれる「蒲団」。なにゆえ、代表作と呼ばれるようになったのか。また、中年男性の内面が「赤裸々」に「告白」されている、と評されているが、何が「告白」されているのか。明治時代の中年男性のお悩みを読み解いていく。

■日時 2月18日(日)午後2時～3時30分
■会場 講義室 ■定員 30人(要予約) ■講師 光石 亜由美氏(奈良大学教授) ■料金 1,000円(観覧料込) ■持ち物 筆記用具 ■申し込み 下記へ

【問い合わせ】谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852 / FAX 38-3244 / ✉ashiya-tanizakan@shopro.co.jp (〒659-0052 伊勢町12-15) 【開館時間】午前10時～午後5時(入館は4時30分まで) 【休館日】月曜日(祝日の場合は、その翌日)・年末年始(12月28日～1月4日) 【観覧料】一般300(240)円、大高生200(160)円、中学生以下無料 ※()内は20人以上の団体料金 ※高齢者(65歳以上)および身体障がい者手帳・精神障がい者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの人とその介護の人は各当日料金の半額